

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>学校教育目標実現のため、めざす子ども像「やってみよう つなげよう」～低学年：楽しむ 中学年：広げる 高学年：高める～の具現化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが互いを尊重し、温かさをもってかかわり合い誰とでも共生できる能力の育成とともに、児童指導・児童理解の充実を図ります。 ・子どもの主体的意識を育て、課題を発見し、課題を解決していく学び方を全教科・教育課程で進めます。 ・子どもの成長のため、家庭・地域、小中一貫教育推進ブロック4校・他機関と連携を深めます。 ・「めざす子ども像」実現のため、教師自身が主体的で、互いを理解し支え合い、課題を発見し、課題を共に解決していることを教師自らが目指します。 ・研究を深めてきた体育科学の学び方を他教科でも生かせることを実証し、主体的・対話的な深い学びから資質・能力を育成し、思考力・判断力・表現力を醸成することで自尊感情を高めます。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		<p>【一人ひとりが居場所をもって生活できる学校づくりです】</p> <p>①教科学習、豊かな体験活動、教育活動から生き方・考え方・とらえ方を見つめなおし自ら正しい判断ができる主体性をもった子どもを育てます。</p> <p>②たてわり活動や異学年交流、地域とのかかわり合いを通して、信頼関係の構築をできる力を育みます。</p> <p>③なかよし委員会が中心となり、全校集会、全校遠足、たてわり活動を行います。</p>
担当	道徳部・児童安全部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

話すこと、聞くことの力の指導を大切にすることによって、朝会や集会など全校で集まった場では話を静かに聞くことができている。しかし、相手の気持ちを察することが苦手であり、相手を思いやる気持ちが足りずにトラブルにつながってしまうことも少なくない。引き続きコミュニケーション力を高めていくことや、自分には良いところがあるという自尊感情を育てていくことが課題である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

○全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。

- ・授業参観等で全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「かがやけ みらい」を活用し、計画的に学習を進める。
- ・子どもアンケートから子どもの実態把握を行い、道徳の時間に生かす。

【視点1】

指針2 体験活動の充実

○年間を通しての縦割り活動を充実させ、一層の活性化を図る。

- ・月1回のたてわり集会を充実させるとともに、全校たてわり遠足、交歓給食など異学年同士のつながりを築くようにする。

【視点3】